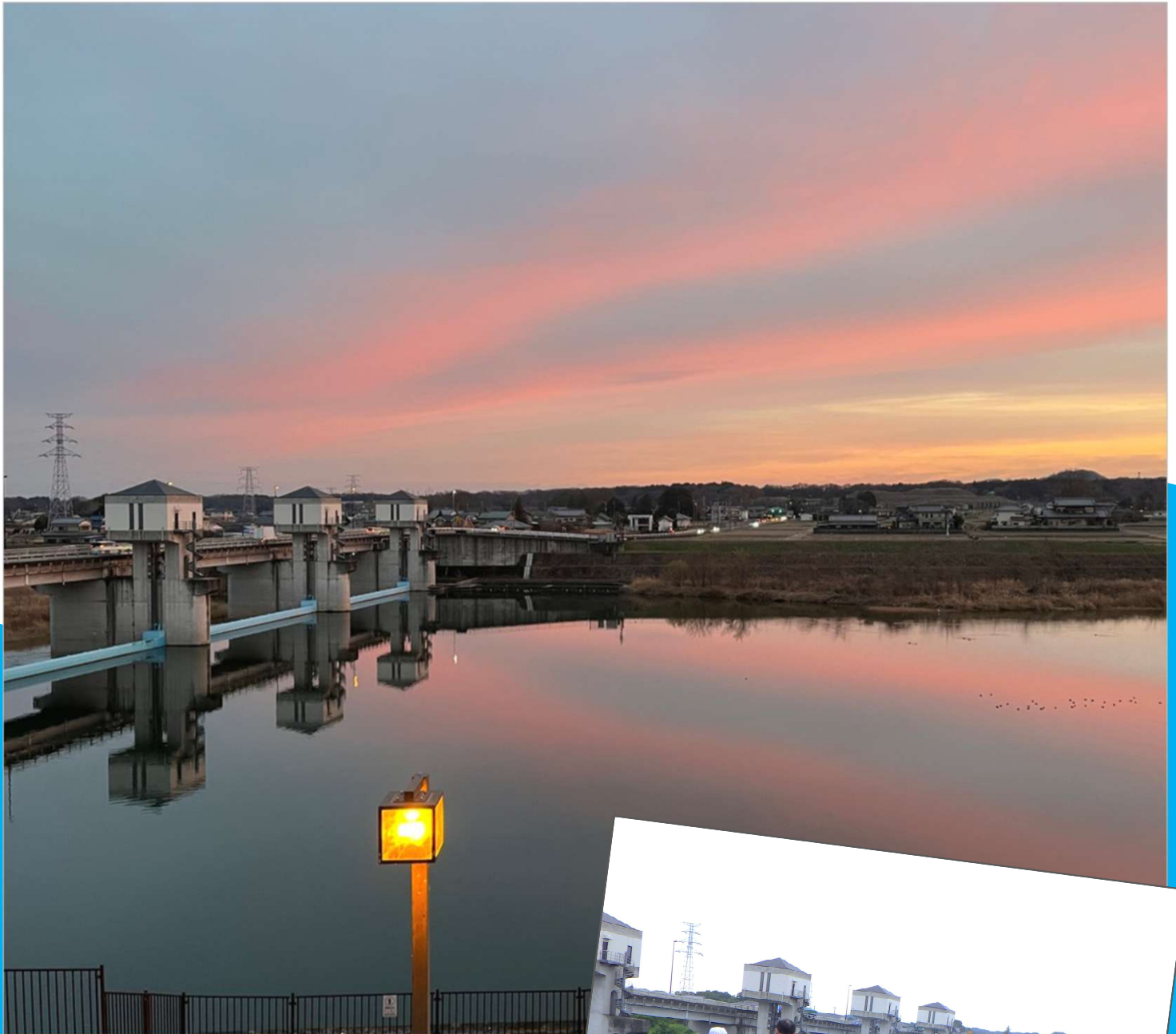


大里農林 振興センターだより

March.2026 No.20

六堰頭首工

六堰頭首工の起源は江戸時代に徳川家康の命により作られたのが始まりです。その後、6つの堰をまとめた初代六堰頭首工が造られましたが、老朽化に伴い、2代目六堰頭首工が造られ、現在も稼働中です。六堰頭首工は小学校社会科学見学など地域学習の場としても利用されています。皆さんもぜひ見学にいらしてください。



発行
埼玉県大里農林振興センター

管理部/農業支援部
農村整備部

🏠 埼玉県熊谷市久保島1373-1
🏠 埼玉県深谷市上野台244-2

☎ 048-523-2812 / 048-526-2210
☎ 048-571-2241



県補助事業＋支援施策で初期費用を抑え、

経営規模拡大にチャレンジする人を応援します！

埼玉県の補助事業（元気な野菜産地づくり支援事業）と無利子融資である農業改良資金を活用し、契約栽培拡大と省力化に向けた農業機器を導入した事例を紹介します。



深谷市岡部の株式会社ねぎ街は、今年度、県の補助事業「元気な野菜産地づくり支援事業」を活用し、ねぎの収穫機と野菜の梱包機を導入しました。この事業は、栽培面積と契約面積の拡大を要件としており、株式会社ねぎ街では機械化による省力化と、出荷体制の整備による契約取引の拡大に取り組んでいます。

事業の自己負担金は、「みどり認定」を受けることで貸付対象となる、無利子の農業改良資金を活用したことにより、最小限の負担で、新たな設備投資を実現しました。



事業を活用したきっかけは何ですか？

経営規模拡大のため、相場に左右されにくい契約栽培を増やしていきたいと考えていました。それまで手作業で行っていた、ねぎの収穫や野菜の梱包を機械化して、省力化を目指しました。



設備導入をして良かったことは何ですか？

ねぎの収穫は約3倍、梱包は約4倍に運用効率が上がり、限られた人材の中、同じ人数でこなせる量が増えました。契約栽培は前年実績の積み重ねなので、徐々に契約栽培面積を拡大していきたいです。



株式会社 ねぎ街
代表取締役社長 矢内源太氏

元気な野菜産地づくり支援事業

露地野菜の契約取引の拡大に取り組む農業者等が、栽培や収穫、調製等の機械化・省力化に資する機械・施設の整備導入に必要な経費を補助します。

令和8年度以降、事業内容が変更になる可能性がありますので、詳細についてはお問い合わせください。

みどり認定

農業者が作成した、環境負荷の低減に取り組む5年間の計画を知事が認定する制度です。県補助事業でのポイント加算や農業改良資金の貸し付け対象になることなど、認定取得のメリットがあります。詳細につきましては、お問い合わせください。



農業改良資金

新しい作物や新技術の導入、新たな加工・販売に取り組む場合など、農業者のチャレンジや農商工連携の取り組みを支援する無利子融資です。

詳細については、日本政策金融公庫にお問い合わせください。



イネカメムシ広域防除への御協力ありがとうございました

令和7年度は、大里地域のイネカメムシ対策として、多くの皆様に御理解と御協力をいただき、河川や用水路の草刈り時期の変更や埼玉県補助事業もご活用いただきながら、無人ヘリやドローン等による広域薬剤散布等を実施いたしました。

お陰をもちまして、被害を最小限に食い止めることができました。令和8年度もイネカメムシによる被害が懸念されますので、引き続き、御理解と御協力をお願いいたします。



写真提供：くまがや農業協同組合

ねぎのマルチ資材の活用による安定生産の実証に取り組んでいます

夏季のねぎ栽培では、高温による生育不良、病害虫被害、雑草管理等といった課題があります。これらの課題に対し、マルチ資材を活用した安定生産や、機械化による作業効率の向上に向けた実証に取り組んでいます。

秋冬ねぎ栽培における暑熱対策と省力化技術検討会を開催

白黒紙マルチ、白黒生分解性マルチ（2種）、白黒ポリマルチの4種類のマルチを張ったうねに、ねぎロケットを使用した手作業での定植作業、半自動定植機、全自動定植機を活用した機械定植を行いました。

大里農林振興センター管内以外からも参加者があり、約50人が実演の見学や定植作業を行い作業の感覚を確かめました。定植後は、当センター職員が定期的に地温の測定・生育調査を行い、11月20日に収量調査を実施しました。



4種類のマルチの調査結果

白黒紙マルチ・白黒生分解性マルチ（2種）・白黒ポリマルチ・無マルチを用い、地温、生育状況、収量の調査を行いました。

地温（8～9月）

最低

白黒紙マルチ ≦ 白黒生分解性マルチ < 無マルチ < 白黒ポリマルチ

最高

無マルチ < 白黒紙マルチ < 白黒ポリマルチ < 白黒生分解性マルチ

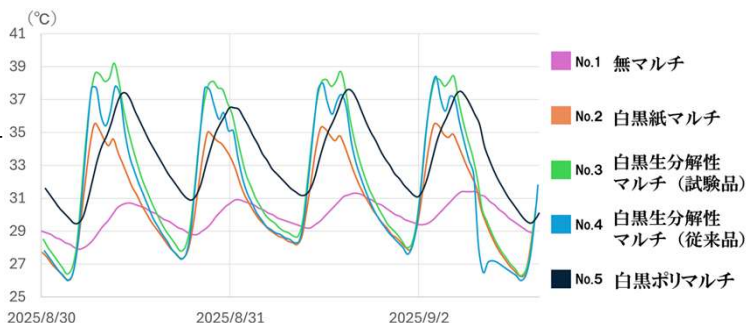


図1. マルチ資材活用ねぎの地温

マルチのおすすめの使用時期

白黒ポリマルチ 7月までにマルチを剥がす作型

白黒紙マルチ・白黒生分解性マルチ 8月以降もマルチを使用する作型

check 詳しい調査結果につきましては講習会等でお知らせしていきます。

そろそろ
はじめて
みませんか？

水田農業におけるスマート農業

近年は経営体当たりの耕地面積が増加し、昔のようにほ場をこまめに見て回ることが困難になってきています。一方で、近年の技術革新により、衛星画像や作業履歴、天候等に基づいて、地力や生育、作業適期や進捗状況を総合的に支援する「栽培管理支援システム」と呼ばれるツールが充実してきています。

例えばBASFが提供しているxarvio（ザルビオ）は、1haあたり年間数千円で生育・地力・平均植生（NDVI）・雑草・標高等のマップや、ほ場ごとの進捗管理が可能であり、プランによっては生育ステージの予測や可変施肥、スマート農機との連携が可能になります。



ザルビオを導入・活用している生産者さんに聞きました！

導入メリットや
使いどころを
教えて！

見た目での生育状況とよく合致する

ほ場を自分の目で観察した時の印象との誤差が小さく、目の代わりになっていることが実感できるため、以前よりもこまめにほ場を見て回る必要がなくなった。

何日か先の予測が出てくる

生育ステージや注意すべき病害虫の予測が表示され、天気予報とも連動しているため、作業計画に役立っている。

可変施肥への利用

地力や生育マップに基づいた基肥（オール14）の可変施肥を導入して2年目になるが、ほ場の生育ムラがなくなってきた。

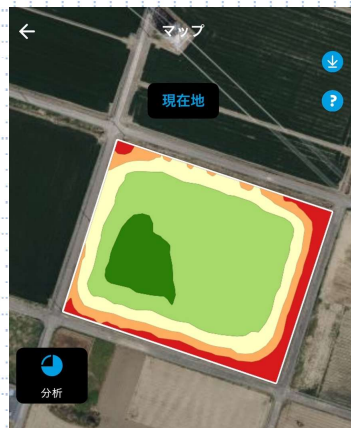
安価な料金設定

充実した機能に対して価格は気にならず、むしろ安く感じている。

その他

欠点をあげるとすれば、農作業の進捗管理にはやや使いにくいいため別のアプリを使用している。初期設定が若干面倒に感じるが、総合的に見れば導入価値は十分にあるため、周囲にも勧めている。

実際の操作画面



ほ場の生育の多寡を示したマップを表示できる

あなたも農村女性アドバイザーになりませんか？

さいたま農村女性アドバイザー
土里夢(どリーむ)

大里地域の農業女性団体で、農業経営や農産物活用等の専門的な知識・経験を持つ女性農業者のつながりの場であり、研修会や視察旅行などを開催し、女性農業者の知見を広げることや、新たなネットワークづくりにも力を入れています。

どんな人が何人ぐらいいるの？

- ・土里夢の会員は世代の幅が広く、高齢の方もいれば、「他の農業者の助けになりたい」と新しく農村女性アドバイザーに認定されて土里夢に加入する方もいます。
- ・令和7年度は4人の女性農業者が新規入会し、現在は26人で活動しています。令和7年度は、視察研修会や定例会を開催。情報交換も活発に行っています。

具体的な活動は？

研修会（令和7年7月）を開催
講師 県内の女性農業委員長
テーマ 「女性が輝ける活動をめざして」

「農家の女性」としての悩みや苦労を共有することや、農業女性団体を運営するコツなどの話を聞くことができ、「日々の農業や団体活動に対して前向きな気持ちになって元気がもえた」などの感想があり、有意義な研修会となりました。

当センターでは
アドバイザーの新規
認定を推進し、活動を
支援しています。



【お問合せ】 農業支援部 新規就農・法人化担当 ☎048-526-2210



令和7年度 農村整備部関係の表彰

埼玉県農林部では、受託業者およびの建設技術者の技術・意欲の向上を図るとともに、委託業務・建設工事の適正な履行を確保することを目的として表彰しています。

埼玉県農林部優秀委託業務表彰

《受賞者》
旭工榮株式会社

《業務委託名》
6 荒中設第1号末端畑地かんがい整備手法検討
業務委託

🏆 優れていた点

- ・用水の必要性について意向調査を実施し、集計結果を基に地域ごとの農業形態に応じた段階的整備案を策定した。
- ・今後の末端畑地かんがい推進における地元説明等を想定し、Google Earthを活用した説明資料を作成した。



埼玉県農林部優秀建設工事施工者表彰 & 埼玉県農林部優秀現場代理人等表彰



《優秀工事施工者表彰》
真下建設株式会社
代表取締役 真下 敏明 様

《優秀現場代理人等表彰》
真下建設株式会社 小林 勝之 様
株式会社関口組 渋澤 学 様

🏆 Congratulations !

今後より良い工事を
通じた農業農村の発展に
ご協力よろしくお願
いします。



【お問合せ】 農村整備部 県営事業担当、国営関連事業担当 ☎048-571-2242